

授業科目名・形態	リハビリテーションと看護 講義	必修・選択の別	選択	単位数	1
担当者氏名	今野 修	実務経験の有無	有	開講期	3年後期

【授業の主題】

リハビリテーション看護の今日的課題について、回復期にある対象者の看護の基本原則と、臨地実習での疾病や障害に対する看護実践を踏まえた発展的学習を行なう。また、転倒・転落防止対策などを含めた維持期リハビリテーションおよび地域リハビリテーション、さらに補完・代替療法(CAM)を取り入れたリハビリテーション看護の実際等を紹介し、幅広い視点からリハビリテーション看護を考える。

【到達目標】

- 1) 対象者の生活の自立を踏まえ、生活の再構築の方法を理解することができる。
- 2) 回復力と自立性を高めることにつながる「安寧」のリハビリテーション看護への取り入れの方法を理解することができる。

【授業計画・内容】

- 第1回 リハビリテーション看護の考え方
 第2回 がん患者のリハビリテーション看護
 第3回 転倒・転落予防対策とリハビリテーション看護
 第4回 高次脳機能障害患者のリハビリテーション看護
 第5回 摂食・嚥下障害のある患者のリハビリテーション看護①
 第6回 摂食・嚥下障害のある患者のリハビリテーション看護②
 第7回 補完・代替療法(CAM) とリハビリテーション看護①
 (ホリスティックケアを通してリハビリテーション看護を考える)
 第8回 補完・代替療法(CAM) とリハビリテーション看護②
 (ホリスティックケアを通してリハビリテーション看護を考える)

【授業実施方法】

講義および演習

【授業準備】

次回の授業内容については予告するので、次回までに教科書等で予習してくる。

【主な関連する科目】

成人看護方法論Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、緩和ケア論、老年看護方法論Ⅰ・Ⅱ

【教科書等】

酒井郁子、金城利雄：リハビリテーション看護 改定第2版、南江堂、2015。

【参考文献】

奥宮暁子他：ナーシング・グラフィカ 成人看護学⑥ リハビリテーション看護、メディカ出版、2018。

【成績評価方法】

レポート(80%)、授業態度(20%)等による総合的評価

【実務経験及び実務を活かした授業内容】

回復期病棟および老人医療施設等で看護師として経験を積んできた。リハビリ看護の実際を経験を生かして伝えたい。

【学生へのメッセージ】

この講義を通して、人間にとっての最良の健康回復の支援方法を考えていきたいと思います。また、限られた時間で学習を深めるために、予習・復習にも努めてもらいたいと思います。